

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

ホログ市灌漑用水路整備計画 供与式報告

6月5日、「ホログ市灌漑用水路整備計画」の供与式が、ゴルノ・バダフシャン自治州都ホログ市及び隣接するロシュトカラ行政郡の間を流れるドディフド灌漑用水路脇で執り行われました。本案件では、ホログ市近隣の1,000世帯に農業用水を供給する全長14.2kmの灌漑用水路を拡張・整備しました。工事は、灌漑用水の流れを止めることができる春先と秋口の数ヶ月間しか実施できない制約もある中行われ、完成を祝う供与式には大勢の住民が集まりました。

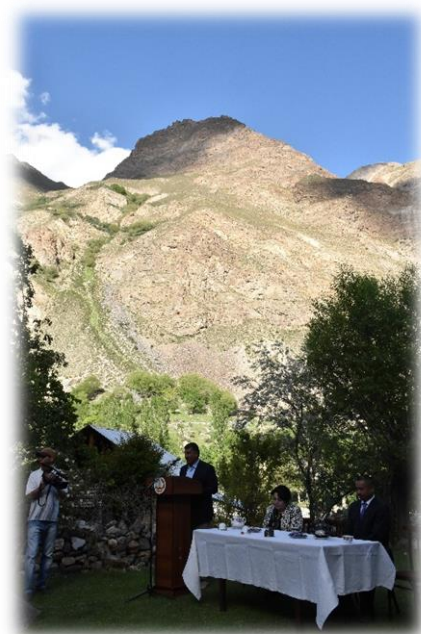
本計画実施前は、十分な水が全ての近隣農家に行き渡らないため住民間の不和が発生するなどの問題もありましたが、本計画完了に伴い、1,000世帯、約14,000名の近隣住民が十分な灌漑用水を享受できるようになりました。これにより農作物の収穫量増加、ひいては住民の収入増加に繋がることが期待されます。



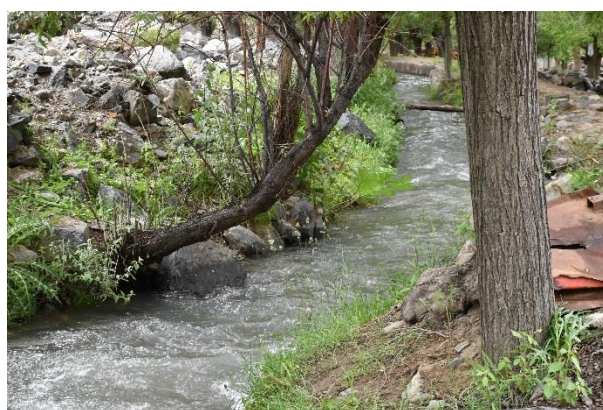
写真左上：テープカットは、多くの参席者が見守る中、鎌田参事官およびゴルノ・バダフシャン自治州知事によって行われました。



写真左下：屋外で行われた供与式には、タジキスタンと日本の旗を持った参席者が集まりました。



写真右：供与式でのスピーチの様子。式典は雄大なパミールの山々を背景に、和やかな雰囲気の中執り行われました。



灌漑用水脇の目に付く位置には日本からの支援を示す日章旗プレートが掲げられています。以前は満足に機能しなかったドディエフ灌漑用水路ですが、本計画実施により、近隣農家に必要な水を十分に供給できるようになりました。